

科目名 Subject	アート&デザイン Art & Design			教員名	栗本佳典・林美喜	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	1単位	
必修／選択	選択	授業形態	演習	時間	30時間	
実践的教育	×					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
	◎		○	○		
科目の概要	美術の歴史や現状を幅広く学び知識の幅を広げるとともに多様な価値観や考え方を理解し、美容をはじめ様々な状況で必要とされる造形やデザインの役割、表現方法について学びます。 デッサンでは、物の形や構成を観察し正しく描く方法について演習を行うことで表現する技術を身につけ、デザインではデジタル画像と平面、立体との関係を演習を行いながら学びます。 毎回、演習課題を自分で判断しながら作成することで、課題解決能力や技能、美意識をしっかりと身につけます。 〔オムニバス方式〕					
授業方法	授業は対面授業で行う。 ただし、状況次第でZOOMによる同時双方向（リアルタイム）のオンライン授業に切り替えることや、密の分散のため受講者を区切り、対面授業とオンライン授業を併用する可能性もある。					
授業の目標	演習課題を通して造形やデザインの基礎をしっかりと身につけるとともに、美に対する認識力や発想力、イメージ力を発揮することができる。さらに、幅広い知識や造形感覚、デジタル画像を含めたデザイン力を身につけ、さまざまな場面で必要となる美に対する判断力や課題解決力、表現力を高め実践することができる。 また、課題提出時に学生と教員で相互評価を行うことにより、自己を振り返り解説することができる。					
時間外学習 （予習・復習）	週に一回は、画集やファッション雑誌・美容雑誌、またはその画像などを見て、デザインの比較や工夫、美的要素や画面構成を探り、それをノートに記録するなどして、60分程度学習してください。また、お店のインテリアや身の回りのデザインされたものなどを観察して、普段から美に対する意識を高めてください。					
教科書・教材	教科書	なし				
	教材	なし				
	使用設備・備品	デッサン室使用あり				
	参考文献	なし				
評価方法	提出課題の理解度および完成度 8 0 %、授業態度 2 0 %					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。					
履修上の注意	なし					
本科目履修と関連する資格	資格名	なし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第1回	オリエンテーション 芸術と表現について学ぶ	芸術と表現について認識を深め、自己の表現につなげることができる。	
第2回	日本美術と西洋美術について学ぶ	日本美術と西洋美術の特徴を知り、両方を比較し考察することができる。	
第3回	美術史から見るさまざまな表現について学ぶ	歴史上の様々な表現を知り、自己の作品で実践できる。	
第4回	形をとらえる（1）基礎デッサンについて学ぶ	形の中にある構造を捉え、基本的な描写をすることができる。	スケッチブック使用
第5回	形をとらえる（2）人物デッサンについて学ぶ	人物の形やバランスを捉え、基本的な描写をすることができる。	スケッチブック使用
第6回	形をとらえる（3）石膏像デッサンについて学ぶ	石膏像の形やバランスを捉え描写することができる。	スケッチブック使用
第7回	形を創造する想定デッサンについて学ぶ	平面から立体を作成する力を養い、立体に対する想像力を高め表現することができる。	スケッチブック使用
第8回	現代の表現（絵画、彫刻、デザインなど）について学ぶ	現代の表現を知り美に対する幅を広げ、さまざまな作品を自分なりに評価することができる。	
第9回	デザインと表現とデザイン領域について学ぶ	デザインと呼ばれるものはどのように身近に存在するのか、又、どのような種類があるのかを知り、表現につなげることができる。	
第10回	デザインとデジタルと物の見え方について学ぶ	デザインに必要なアイデアスケッチ発想法を知り、表現するために見た物をどう再現するか、又、されているかを学び実践できる	スケッチブック使用
第11回	デザインとデジタルと平面上の立体物について学ぶ	ゲームやアニメなどを見るときに平面画面が立体的に見えるのはなぜかを知るとともに、立体図法を学び実践できる。	スケッチブック使用
第12回	画像と実像とスケッチについて学ぶ	友人の顔を写真に撮ってスケッチをする事と、直接見てスケッチする事で、その差異を知り応用することができる。	スケッチブック使用
第13回	画像と実像と動画について学ぶ	ごく基本的な動画の基本を学び実践できる。	
第14回	実像表現と紙による立体表現について学ぶ	紙を用いてイメージに沿った立体表現を学び実践できる。	
第15回	自己作品のプレゼンテーション	自己の作品について分析し、他者に解説することができる。	